

平成27年12月9日

「高津地区一日一万歩歩こう会」活動報告

「高津地区一日一万歩歩こう会」
会長 石塚 卯三夫

1 団体の概要

(1) 会の発足：昭和40年7月

(2) 会員数：平成27年現在、347名（結成当初は600名弱）

2 団体発足の経緯・活動

(1) 経緯

高度経済成長期、物流の劇的な増大、自動車生産台数の大幅増加など、経済優先の時代背景にも起因し「第一次交通戦争」と称される時代にあり、府中県道・同新道（現国道409号線）、国道246号線（溝口の「切通し」付近は走行する自動車の速度が特に早い事から『弾丸道路』と呼ばれた）、大山街道、多摩沿線道路など、幹線道路を中心に交通安全対策の取り組みの強化が必然的に求められる時代情勢にあった。

今では全国的な組織となった「交通安全母の会」の発祥が高津地区にあった事などもあり、当時の高津区域では交通安全の取り組みに関する機運が高まっており、高津支所（当時）と高津警察署、地域の各町内会が一丸となって、「交通事故防止」、「健康増進」、「子どもも大人も参加できる活動」を目指して発足した。

(2) 当時の活動

発足当初からしばらくは、高津小学校から多摩川・宇奈根の河原までの往復コースだったが、交通事情の変化に伴い、緑ヶ丘霊園・東高根森林公園コースなど、いくつかのコースに変更。高津地区の親子運動会が等々力競技場で行われた時には、高津地区から歩いて会場に向かった事もあった。

その後、会員の要望を取り入れる事などにより、貸切バスハイクや、貸切列車ハイクによる日帰り旅行も実施。南武線の車両を貸し切った「高津健康号」で、御岳渓谷遊覧、小田原観梅、成田山詣などを実施。時には通常運行の6両編成では足りず、特別に8両編成で列車ハイクを実施した際には、6両編成を前提に設計されている武蔵溝ノ口駅ホームから車両がはみ出し、大山街道踏切が閉まったままとり大山街道が大渋滞となるハプニングもあった。

(3) 現在の活動

交通事故減少など活動の奏功により、現在ではみんなで楽しく歩く事と、地域の各種行事に参加する事で、健康の維持・増進、地域の絆や交流を深める事を目的とし、活動している。

自主的な行事は毎月一回程度、それ以外に地域の行事は春秋の交通安全キャンペーン、多摩川美化活動、高津区健康福祉まつり、高津区民祭、高津地区親子運動会、高津地区防

災訓練などに、参加・出店している。

会員の高齢化により、列車ハイクでの遠出が難しくなってきた近年は毎月一度の近場の散策等（昭和記念公園、府中郷土の森公園、大國魂神社、浅草、川崎大師）が主な行事となっていたが、来年1月のお座敷列車による成田山詣を企画したところ貸切列車の定員を超える応募があり、会員の会に寄せる期待がまだまだ高いと感じている。

毎年4月には、行事・イベントへの参加を歩数に換算し、完歩賞の贈呈式を行っている。